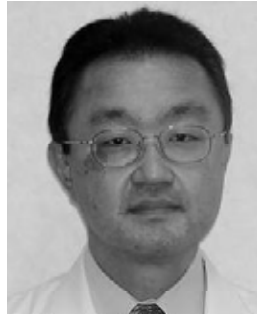


# インフルエンザの話

内科部長 橋本 久仁彦



みなさんは、インフルエンザの予防接種を受けられましたか？最近では新聞やテレビで「新型」やら「鳥」など色々いわれて、かえって解りにくいのではないのでしょうか？

インフルエンザはウイルスの仲間です。風邪も色々なウイルスで起こるのですが、インフルエンザは突然高熱が出現し関節



痛や筋肉痛など全身の症状が出て流行することが特徴です。

なぜ流行するのかと言うと、感染力が強いこととウイルスの型が変異して人の免疫力（ウイルスを攻撃する力）が働きにくくなることが原因です。なかでもA型が渡り鳥によって運ばれ変異を起こしやすいのです。鳥インフルエンザは人にうつらないとされていましたが、最近では人にうつることがあり大問題となってきました。このウイルスがもう一度変異して人から人にうつると新型インフルエンザとして世界で大流行すると考えられています。なぜなら、全く免疫力が働かないからです。この新型に対するワクチンは未だありません。

インフルエンザに対する予防は、一般の風邪予防と同じで体力を落とさないこと、手洗い・うがい、人ごみを避けること、そして暖かくして乾燥を避けること（ウイルスは寒くて乾燥している状態が好きなのです）が大切です。一番確実な予防は、ワクチン接種です。ワクチンを受けて規則的な生活を心がけることが大切です！